



熊本市 感染症発生動向調査 速報



◆インフルエンザが流行期に入りました。感染症発生動向調査で、熊本市の第49週（12月3日～12月9日）の定点医療機関あたりの患者報告数は、1.4人（定点数25ヶ所、患者報告数38人）となり国が流行の目安としている1.0人を超えました。手洗い、咳エチケットなど、感染予防に努めましょう。◆今週はロタウイルスによる感染性胃腸炎について特集します。

●感染性胃腸炎（ロタウイルス）

ロタウイルスによって引き起こされる急性の胃腸炎で、感染力が強く、ごくわずかなウイルス（10～100個くらい）が体内に入るだけで感染してしまいます。ふつう、5歳までにほぼすべての子どもがロタウイルスに感染するといわれています。大人はロタウイルスの感染を何度も経験しているため、ほとんどの場合、症状が出ません。

◆どんな病気？

- ・症状……水のような下痢や嘔吐（おうと）が繰り返し起こります。その後、重い脱水症状が数日間続くことがあります。発熱や腹部の不快感などもよくみられます。
- ・潜伏期間…2～4日
- ・感染経路…患者の便や便を処理した手を介して口から入ることで感染します。
- ・流行期……3月～5月

感染性胃腸炎比較表も読んで、感染予防してね。



◆かかったらどうすればいいの？

脱水症状がひどくなると点滴が必要となったり、入院が必要になることがあります。5歳までの急性胃腸炎の入院患者のうち、40～50%前後はロタウイルスが原因です。合併症として、けいれん、肝機能異常、急性腎不全、脳症、心筋炎などが起こることがあり、死に至る場合もあります。意識の低下やけいれん等の症状が見られたら、速やかに、近くの医療機関を受診しましょう。

現在、ロタウイルスに効果のある抗ウイルス剤はありません。このため、脱水を防ぐための水分補給や体力を消耗したりしないように栄養を補給することなどが治療の中心になります。脱水症状がひどい場合には医療機関で点滴を行うなどの治療が必要になります。下痢止め薬（止しゃ薬）は、病気の回復を遅らせることがあるので使用しないことが望ましいでしょう。

期 間		平成30年 48週		平成30年 49週	
		11/26～12/2		12/3～12/9（最新）	
疾患名 <small>（百日咳は平成30年1月1日より全数報告へ変更になりました）</small>	疾患の増減	報告数	定点当り	報告数	定点当り
インフルエンザ		22	0.88	35	1.40
RSウイルス感染症		1	0.06	3	0.19
咽頭結膜熱（プール熱）		8	0.50	3	0.19
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		41	2.56	51	3.19
感染性胃腸炎		125	7.81	120	7.50
水痘（みずぼうそう）		3	0.19	11	0.69
手足口病		7	0.44	12	0.75
伝染性紅斑（りんご病）		1	0.06	0	0.00
突発性発しん		13	0.81	9	0.56
ヘルパンギーナ		0	0.00	3	0.19
流行性耳下腺炎（おたふくかぜ）		1	0.06	1	0.06
急性出血性結膜炎		0	0.00	0	0.00
流行性角結膜炎（はやり目）		21	4.20	19	3.80
細菌性髄膜炎		0	0.00	0	0.00
無菌性髄膜炎		1	0.20	0	0.00
マイコプラズマ肺炎		0	0.00	0	0.00
クラミジア肺炎（オウム病を除く）		0	0.00	0	0.00
感染性胃腸炎（ロタウイルス）		0	0.00	0	0.00